

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
A I システム科											
AIプロデュース											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	1
担当教員	久保田 達也、木村 悠貴			実務 経験	有	職種	プランナー				
授業概要											
AIを活用したモノゴトづくりをプロデュースするために必要なスキルとして、クリティカルシンキング・ロジカルシンキング・ディベートを学ぶ。											
到達目標											
仕事において自身の意見は相手に伝わってこそ意味があるものであるという認識をしっかりと持ち、その重要性について説明ができる。また、他者に自身の主張を説明をする際に人それぞれ背景が違えば考えも違うという前提を理解し、どのようにすれば相手に伝わるかということを常に意識できるようになり、ロジックツリーやピラミッドストラクチャーなどの具体的なツールを用いて考えを表現することができる。											
授業方法											
各授業の前半で具体的なツール(ロジックツリー、ピラミッドストラクチャー)やその概念について説明を行い、後半ではそれらのツールを実際に使って考えを表現する技術を身に付けていく。また、最後にはディベートを通じて他者との意見交換を行い、多角的にものごとを見つめる習慣を養うとともに他者の尊重についても身に付けさせる。											
成績評価方法											
授業時間内に行われる発表方法や発表内容、課題について評価をする。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。課題によってはグループでの作業を行うため協調性も評価の対象となりうる。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布資料											
回数	授業計画										
第1回	イントロダクション (科目の概要、評価法について理解する)										
第2回	考え方の基本 (MECE (ミーシー)、演繹法と帰納法について説明できる)										
第3回	ロジックツリー(原因追求) ① (Wh a t ツリーの概要を理解する)										

第4回	ロジックツリー(原因追求) ② (W h a t ツリーを用いて課題に対する原因を記述できる)
第5回	ロジックツリー(問題解決) ① (W h y ツリーの概要を理解する)
第6回	ロジックツリー(問題解決) ② (W h y ツリーを用いて課題に対する原因を記述できる)
第7回	ロジックツリー(要素分解) ① (H o w ツリーの概要を理解する)
第8回	ロジックツリー(要素分解) ② (H o w ツリーを用いて課題に対する原因を記述できる)
第9回	ピラミッドストラクチャー ① (ピラミッドストラクチャーの概要を理解する)
第10回	ピラミッドストラクチャー ② (ピラミッドストラクチャーを用いて、自身の主張を記述できる。)
第11回	クリティカルシンキングの概要 (ズームイン・ズームアウトについて説明できる)
第12回	ディベート実践 ① (課題に対する自身の考えを説明できる)
第13回	ディベート実践 ② (課題に対する自身の考えを説明できる)
第14回	ディベート実践 ③ (課題に対する自身の考えを説明できる)
第15回	まとめ (ロジカルシンキング、クリティカルシンキングの重要性を説明できる。)